

【お問い合わせ】

国土交通省 九州地方整備局

佐賀国道事務所

〒849-0924

佐賀県佐賀市新中町5番10号

TEL0952-32-1151 (代表)

http://www.qsr.mlit.go.jp/sakoku/



「西九州自動車道沿線首長サミット in からつ」が開催されました。



唐津市長の挨拶



サミット開会



山本華世さんによる講演



古川佐賀県知事の祝辞

その後、西九州自動車道の代表5市長によるパネルディスカッションが行われ、西九州道への熱い期待が語られました。(裏面をご覧ください。)最後に、沿線首長により高らかにサミット宣言が読み上げられました。

会場の熱気に圧倒されるとともに、西九州道に対する期待の大きさを再認識される一日となりました。

山本華世さんの講演では「高速道路で出会った素敵なまち」ということで、高速道路整備で変わった地域とのコミュニケーションや期待を、等身大の目線で興味深く聞かせていただきました。

その後も、西九州自動車道の代表5市長によるパネルディスカッションが行われ、西九州道への熱い期待が語られました。(裏面をご覧ください。)最後に、沿線首長により高らかにサミット宣言が読み上げられました。



沿線首長によるサミット宣言



サミット会場の名護屋城博物館



そくそくと来場者がありました



開会前にいっぱいになった会場

サミット宣言文

私たち西九州自動車道沿線十七自治体は、西九州自動車道が、アジアの拠点都市である福岡市と玄海国立公園や西海国立公園等の変化に富んだ自然景観や、アジアやヨーロッパとの交流の歴史を物語る史跡、テーマパーク等に恵まれた九州北西部地域を結ぶ一大観光・リゾートルートとして、また、私たちの地域経済の発展や文化振興、生活圏拡大に欠くことのできない広域幹線道路として一日も早く完成することを熱望する。

このため、道路特定財源を他に転用することなく、全額道路整備財源として堅持し、我々にとりまして真に必要な道である西九州自動車道の早期完成を関係機関に強く要望していくとともに、西九州自動車道全線開通の暁には、沿線自治体が連携して西九州自動車道を活用し、住民本位の活力ある地域づくりに励むことを、ここに宣言する。

平成十九年十月二十七日 西九州自動車道建設促進期成会

講演

「高速道路で出会った素敵なまち」



テレビキャスター
山本華世氏

以前、玄界灘がずーっと門司港から西九州自動車道で直結すると、九州を一つのテーマパークとして、皆さんいろいろなところに行かれるんじゃないかな、早く直結してほしいですね、というようなお話をしたことがあります。

西九州が一つになると、九州圏外からこられるお客様が増えるんじゃないかと思っています。それからはまちの皆さん方に歓迎してもらって、皆さんと接したことで本当に九州に来てよかったなということを感じていただきたいと思います。出会いというのは大事だなと思っていますので西九州道の開通を待つだけでなく、皆さんもお客様の受け入れ体制をつくっていただけたらな、と思っています。

基調講演

「道路整備と地域活性化」

今、政府が構造改革といっている一番の大きな背景は人口問題です。21世紀になって日本の人口が減り始めました。一方で高齢化の波に各地域がさらされています。このような少子高齢化という時に生活の基盤となる道路、そういう役割を考えてほしいと思います。

この西九州自動車道は、インターは短くしていて産業基盤として非常にメリットがあります。

皆さんが西九州を中心とするこの道路をもとにして、どういう地域をつくるのか、どう暮らしをつくっていくか、守っていくかということをご考へをいただけたらと思います。



国土交通省九州地方整備局長
鈴木克宗氏



友広松浦市長

松浦市はこれからのまちづくりを定住人口と交流人口の拡大としており、福岡都市圏と松浦をどう結び付けていくかという事にあります。そのためにも、一日も早く西九州道整備をして、松浦を住みたいまち、住んでよかったまちにしていきたいと思ひます。

この西九州道の沿線には、博物館や民族資料館等があります。これを西九州道を通して巡るコース、広域歴史街道として、連携した広域的な地域間交流をはかることを西九州自動車道の活用の一つとして提案したいと思ひます。



塚部伊万里市長

一点目は安全安心なまちづくりです。西九州自動車道があれば国道202号のバイパス的に使うことができ、安全安心な暮らしの実現に大いに役立つと思ひます。二点目は産業の振興、ネットワークの整備です。三点目のまちづくりは、少子化に歯止めをかけるまちづくり。子育てをする方は病院等が心配だということで、いい病院も1時間くらいで行けたら、伊万里に住んで暮らしたいということでしたので、少子化対策という意味での高速道路を活かしたまちづくりを期待してあります。



坂井唐津市長

西九州自動車道を活かしたまちづくりという観点から、みちづくりはまちづくりということを感じてあります。道路開通により大きな企業が進出したり、唐津のものが都市圏で得られるという可能性がみちづくり、まちづくりに繋がっていくんだと思ひます。様々な産業面、交通面、観光面を含めてこの自動車道の早期完成が、沿線の各市、近隣の各市町の連携に繋がって北部九州の大きなまちづくりの核になっていくと確信してあります。



松本前原市長

前原市は、西九州自動車道沿線で一番福岡都市圏に近いところに位置し、様々な恩恵を被っています。一番目は人口。30年で倍に増えました。二点目は、企業誘致。I.C 近くの団地は、面積ベースで95%が完売しています。三点目は、福岡市内の高次救急救命の病院に、早い時間で送り込むことができるようになり、安全安心のまちづくりに役立っています。今後、九州大学を見据えたまちづくり、糸島地域の発展を目指すうえで、基盤となるのは道路ネットワークです。



白濱平戸市長

平戸市は魅力ある観光の振興と交流人口増大ということで四つを企画しています。体験型観光の振興。港を核とした交流・にぎわいイベントの充実。交流イベントの開催。西九州自動車道促進等交通ネットワークの整備です。

また、県民の方と体験学習、体験修学旅行等を連携して行っています。状況に合わせた商品開発等も必要になって来ると思ひますが、福岡から平戸市へ来る時間が短縮されれば、新しい形態が出来るんじゃないかと思ひます。



西九州自動車道沿線
首長サミット
～各首長の発言～

西九州道の整備がちやくちやくと進んでいます。

伊万里松浦道路の山代く県境間の用地説明会を開催しました。

今年の5月より関係者皆様の協力の下で実施していた用地測量・物件調査の完了に伴い、11月5日に浦之崎公民館6日に立岩公民館、7日に山代公民館において、合計で約100名の方々に参加頂き用地説明会を開催しました。

内容としては、調査結果の説明や用地取得の流れ、一般的な補償項目の考え方、公共事業に関する税法上の特例及び今後の予定等について説明を行いました。

質疑応答の中では、今後の用地取得の進め方や代替地に関する事等の質問がなされました。

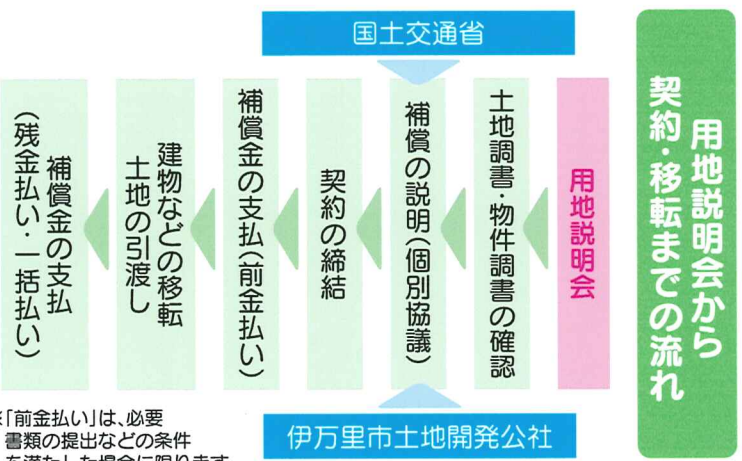
なお、事業用地の取得に当たっては、国及び先行取得制度を活用して伊万里市土地開発公社により行います。

長時間に渡る説明会にもかかわらず、真剣に説明に耳を傾ける出席者の方々の姿を見て事業施行者としても誠意を持って対応しなければならぬことを強く感じました。

今後は、伊万里松浦道路の早期供用を目指し、関係者の方々のお宅にお伺いしますので、どうかご理解とご協力の程よろしくお願ひします。



用地説明会の様子



※「前金払い」は、必要書類の提出などの条件を満たした場合に限ります。

西九州道 トピック コーナー

◎伊万里道路(伊万里東く伊万里中)の路線測量に着手しました。

本年5月・11月に測量立入りに関する説明会を開催し、立入りのご了解を得られましたので、これにより現地の測量に着手しました。伊万里道路、伊万里松浦道路の全ての区間で現地の測量に着手します。皆様のご協力をよろしくお願ひします。

◎道路の中期計画(素案)が発表されました。

「道路特定財源の見直しに関する具体策(平成18年12月に基つき、2回にわたる皆さんへの問いかけ等を踏まえて、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画の素案が11月13日に作成されています。この素案に対する意見が左記のアドレスで募集されていますので、皆さんぜひご意見をお寄せください。

なお、この結果を踏まえ年内に中期計画が作成される予定です。
HPアドレス <http://www.douro-keikaku.jp/>



佐賀国道事務所 用地第二課(用地担当) 櫻井 涼太

これから皆様のもとに伺って、個別にご説明をさせていただくこととなります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。皆様から事業に協力してよかったと言われるように一生懸命頑張ります。公共事業にご理解、ご協力をよろしくお願ひします。

編集後記

○10月27日に西九州道沿線首長サミットが開催され、3県から多くの方々の参加がありました。また、沿線の市町が一同に介する「つなぐ」の一体感も生まれたのではないかと感ひます。準備に携わられた関係者の皆様お疲れ様でした。

○早いもので今年もあと1ヶ月を残すばかりになりました。西九州道も今年は、伊万里道路の着手式や養母田トンネルの起工式等も行われちやくちやくと整備が進んだ年になりました。今年も皆様の西九州道に対するご理解、ご協力ありがとうございました。また、新しい年が皆様にとって良い年となるよう祈念いたします。